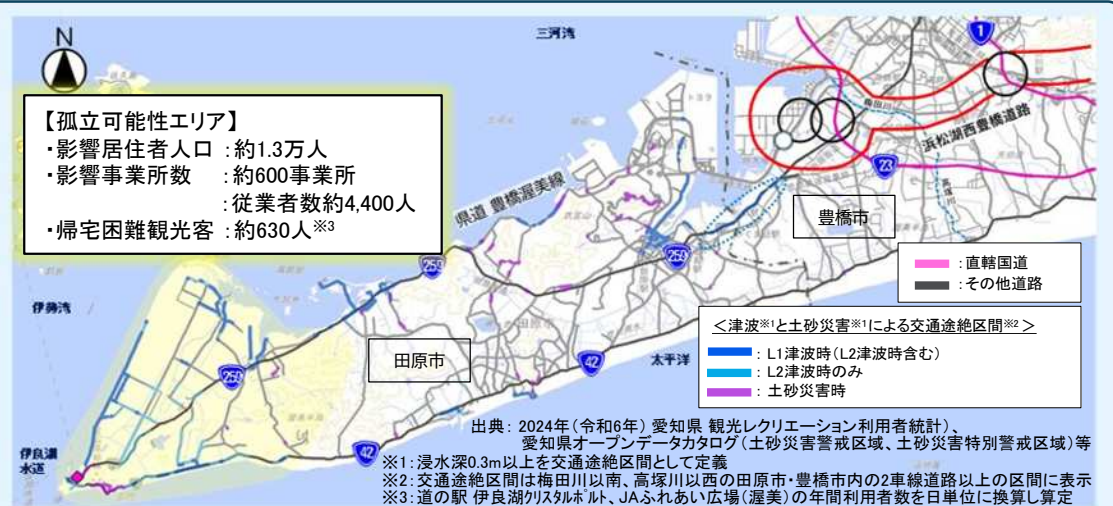


渥美半島地域の課題と政策目標

防災

(課題)
大規模災害時、緊急輸送道路が機能せず長期孤立の可能性

災害時の信頼性向上による孤立防止と円滑な救援等活動及び支援物資輸送の確保



(課題)
日本の経済を支える海運の管制拠点の機能確保

災害時の信頼性向上による孤立防止



農業・観光

(課題)
高速道路ICまで90分以上かかりアクセス性が低い

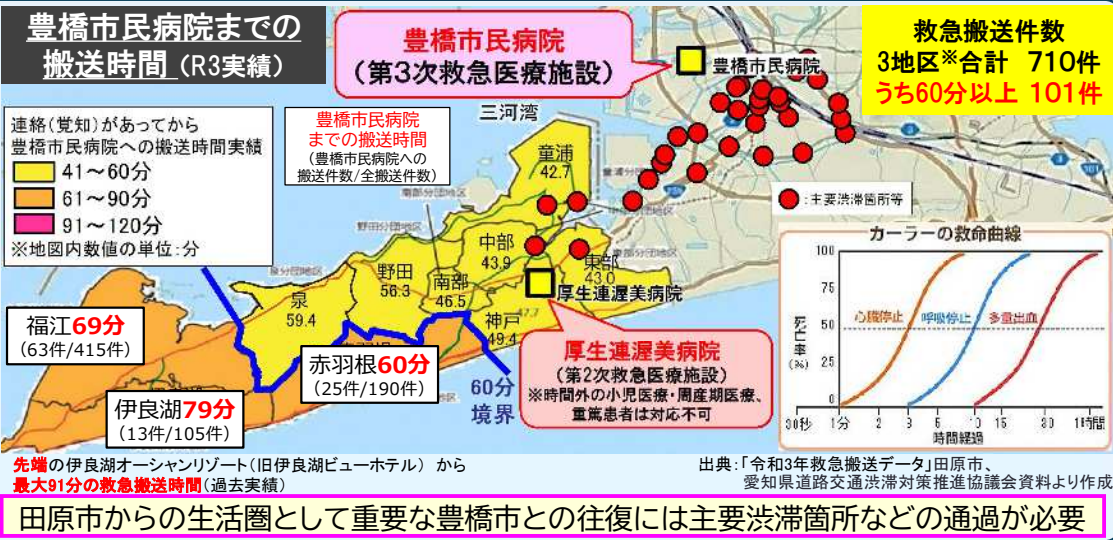
速達性・定時性の向上による物流支援及び広域観光・地域間交流の促進



安心な暮らし

(課題)
豊橋市民病院など都市施設への所要時間が60分以上

救急搬送の時間短縮・豊橋市街地との往來の円滑化



渥美半島の防災力強化等に向けた一般道整備について



渥美半島における防災等の政策目標達成のための一般道整備方針

【政策目標と求められるサービス水準】

	政策目標
防災	災害時の信頼性向上による孤立防止と円滑な救援等活動及び支援物資輸送の確保 【最優先】
農業物流 観光交流	速達性・定時性の向上による物流支援及び広域観光・地域間交流の促進
安心な暮らし	救急搬送の時間短縮・豊橋市街地との往來の円滑化



求められるサービス水準
<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に半島の先端部と中央部や、中央部と付け根部の間が途絶し、孤立が生じることがないこと ● 災害時に防災拠点が孤立することなく速やかにその機能を発揮できること
<ul style="list-style-type: none"> ● 半島内の主要施設が概ね1時間で高規格道路インターチェンジにアクセスできること
<ul style="list-style-type: none"> ● 半島全域が概ね1時間で第3次救急医療施設にアクセスできること


【一般道整備方針】


《現状》

現行の中部版「くしの歯作戦」では、渥美半島中央部の救助活動拠点候補地（赤羽根文化広場）へと結ぶ国道42号が広域支援ルート（STEP1）に指定されているが、大規模災害時に孤立が懸念される半島先端部まで、交通途絶区間を通らず到達できるルートが現状では無い。




《基本方針》

最優先の政策目標が「防災」であることを踏まえ、大規模災害時における豊橋市内の広域物資輸送拠点と渥美半島内の地域内輸送拠点間の確実な輸送や浜松湖西豊橋道路との連続性を考慮した将来的な広域支援ルートとしての機能を想定し、「明海南交差点」から「道の駅 伊良湖水晶ポルト」間を結ぶ県道豊橋渥美線と国道259号を主たるルートとする機能強化を図る。

段階①：機能強化は、早期整備の観点から、まずは交通途絶が懸念される区間に対し、周辺の既存現道による回避（）を基本とし、

回避困難な区間は現道改良やバイパス整備（）を実施する。

段階②：その上で、防災以外の政策目標の達成に向けて必要な整備（）を実施する。

整備ルート(案)	政策目標との対応	整備目標
	活用可能な現道	—
段階① 	防災 【最優先】	概ね10年：半島先端部の孤立を回避(黄色着色部) 概ね15年：災害上脆弱な区間の交通途絶を回避
段階② 	防災以外	段階①完成以降

※活用可能な現道は、津波や土砂災害の発生時にも交通途絶しない区間(2車線以上)

道の駅「伊良湖水晶ポルト」

※「南海トラフ地震における愛知県広域受援計画」の地域内輸送拠点



- ・鉄筋コンクリート造 3階建て
- ・伊良湖港内に立地
- ・海上国道伊勢湾フェリーとの交通結節点
- ・国道259号及び国道42号に接続

